

台北モーニングカップ2025 報告書

国際親善部 池田由紀子

2025年5月10日(土)～15日(木)まで台北体育館にて【2025年53届世界清晨盃】が開催された。今年は17日～30日まで台北にてWorld Mastersが行われるということで、モーニングカップも例年の開催時期をずらしたようだ。

飛行機のチケットを手配するタイミングではタイムテーブルがまだ発表されておらず、図らずも自分たちの試合のなかった11日に台北アリーナでワールドツアースーパー300台北オープンの決勝を観戦することができた。WSとWDに日本の選手が出ており、宮崎友花選手の優勝を見ることができた。またWD・MD・MSに台湾の選手が出ており、会場は大変盛り上がりいていた。

今回のモーニングカップには大阪府レディースバドミントン連盟より4ペアが年齢別種目のみ出場。結果は以下の通り。

・年齢別55歳 甲組 竹田・希有組 優勝

1ゲーム31点先取の試合で中盤までは21-10の大幅リードから30-30まで猛烈に追い上げられ約1時間の激しい闘いとなった。



個人的な感想としては特に甲組のレベルが上がっているように感じた。

すべての種目を合わせると参加人数が約4500名と多いため仕方ないことかもしれないがトーナメントだと初戦負けると終わってしまうので、まずリーグ戦を行うか敗者交流戦などがあればもっと楽しめるのではないかと思います。

国際親善大会に毎年参加してくれている台湾・香港・韓国など常連の方たちと旧交を温めつつ南アフリカからの参加者や、シンガポール・タイ在住の日本人の参加者、コロナ以降は大阪の大会の参加を見送っていた方たちにも要項を渡すことができた。

既にメールで要項を見ていた方たちからは開催場所の変更について多く質問された。

試合に参加した選手たち8人は大会途中で帰国する遠征日程だったため、大会終了後のさよならパーティには後発部隊の廣瀬会長と土肥元副会長に任務を果たしていただいた。

